

学校運営計画

	重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
1学年	①自分が何のために学ぶのかを自分で考える力を養う。 ②学習習慣を早期に確立し、三年間最後まで頑張りぬく力を養う。 ③ともに目標達成を目指す仲間から信頼される誠意ある人間を育てる。	自分を飾らず誠実な高校生を育てる。自分の意思をしっかりと持ち、やるべきことをやり抜く強い意志を育てる。	元気な挨拶を行うなどを通して、活気のある学校生活を送らせる。	A 「1年を振り返って」を実施し、挨拶を行うことで活気ある学校生活を送った」と答えた割合が A 80%以上 B 60%以上80%未満 C 40%以上60%未満
			きまりと時間を守ることの意義をふまえさせ、規律正しい高校生活を送らせる。	A 「1年を振り返って」を実施し、「きまりと時間を守り、規律正しい生活を送った」と答えた割合が、 A 80%以上 B 60%以上80%未満 C 40%以上60%未満 D 40%未満
		日々の授業を大切にし、学習内容をすぐに復習をさせる習慣を早期に確立させる。それにより学力の向上と充実を図る。	授業の大切さを指導し、出席率99%以上をめざす。	B A 出席率99%以上 B 出席率97%以上99%未満 C 出席率95%以上97%未満 D 出席率95%未満
			自宅学習 4時間以上の習慣を定着させる。	A 平日の学年平均が A 4時間以上 B 3.5時間以上4時間未満 C 3時間以上3.5時間未満 D 3時間未満
			生徒が満足する授業を行う。	A 「1年を振り返って」を実施し、「授業内容を理解できている」と答えた割合が A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満
			小テストにより基礎・基本の定着を図る。	C 小テスト合格率が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満
			進研模試において、 ①平均偏差値70以上30名をめざす。 ②偏差値58以上の生徒が100名以上をめざす。	C A ①70以上30人または②が100以上 B ①70以上22人または②が95以上 C ①70以上15人または②が90以上 D A、B、C以外
		将来の進路をしっかりと意識させ、計画を立て実行する能力を生徒理解を深めるとともに、保護者との連携を図る。	SGHの内容であるKJ-C T (クエストエデュケーション)・魚沼学やキャリアスコープ等を有効活用し、自己を見つめ、自己を確立する教育やキャリア教育を年間を通じて計画的に実施する。	A A 年間にわたって計画的に実施し、生徒の満足度も高かった。 B 実施時期に偏りがあったが、生徒の満足度は高かった。 C 年間にわたって計画的に実施したが、生徒の満足度は高くなかった。 D 事前の準備が不足しており、かつ、生徒の満足度も高くなかった。
			個別面談を実施する。 保護者との連携のため、2回の三者面談を実施する。 新入生保護者歓迎会・地区PTA・学年PTA・各種懇親会に参加する。	A A 個別面談を年間4回以上、かつ三者面談を2回実施した。 B 個別面談を年間3回、かつ三者面談を2回実施した。 C 個別面談を年間2回、かつ三者面談を2回実施した。 D 個別面談を年間1回、かつ三者面談を2回実施した。

2学年	学年目標である ①自主・自立(自律) ②共生・協働③不撓・不屈を実践し、中心学年としての自覚を持ち、誠実に行動できる高校生を育てる。 (2学年)	明るく、規則正しい学校生活を送らせる。	元気な挨拶を行うなどを通して、活気のある学校生活を送らせる。	A 「1年を振り返って」を実施し、挨拶を行うことで活気ある学校生活を送った」と答えた割合が A 80%以上 B 60%以上80%未満 C 40%以上60%未満
			きまりと時間を守ることの意義をふまえさせ、規律正しい高校生活を送らせる。	A アンケートを実施し、「きまりと時間を守り、規律正しい生活を送った」と答えた割合が、 A 80%以上 B 60%以上80%未満 C 40%以上60%未満
		授業第一主義により、生徒の学力を向上を図る。	授業の大切さを指導し、出席率99%以上をめざす。	B A 出席率99%以上 B 出席率97%以上99%未満 C 出席率95%以上97%未満 D 出席率95%未満
			自宅学習 4時間以上の習慣を定着させる。	A 平日の学年平均が A 4時間以上 B 3.5時間以上4時間未満 C 3時間以上3.5時間未満 D 3時間未満
			生徒が満足する授業を行う。	A 生徒による授業評価を実施し、「授業内容を理解できている」と答えた割合が A 80%以上 B 60%以上 80%未満 C 40%以上 60%未満 D 40%未満
			小テストにより基礎・基本の定着を図る。	B 小テスト合格率が A 80%以上 B 65%以上 80%未満 C 50%以上 65%未満 D 50%未満
			進研模試において、 ①平均偏差値62以上 ②偏差値58以上の生徒が80人以上になるようにする。	B A ①62以上または②80人以上を達成 B ①61以上または②70人以上を達成 C ①60以上または②60人以上を達成 D A、B、C以外
		自己の高校卒業後の進路を意識させ、意義ある高校生活を送る動機付けとする。	進路研究(学問研究・大学研究等)を含む進路学習を年間にわたって系統的に行う。	A A 年間にわたって計画的に実施し、生徒の満足度も高かった。 B 実施時期に偏りがあったが、生徒の満足度は高かった。 C 年間にわたって計画的に実施したが、生徒の満足度は高くなかった。 D 事前の準備が不足しており、かつ、生徒の満足度も高くなかった。
		生徒理解を深めるとともに、情報共有を通して保護者との連携を図る。	個別面談、三者面談を適切なねらいのもとで実施する。	A A 設定したねらいが適切であり、実施時期、回数、内容とも概ね必要を満たしていた。 B 設定したねらいは適切だったが、実施時期、回数、内容に改善すべき点が目立った。 C 設定したねらいに改善すべき点が多かった。 D ねらいが明確ではなかった。

	重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
3学年	生徒全員の進路希望を達成する。 (3学年)	学力を向上させ、進路希望を達成させる。	生徒のやる気を喚起し、学力向上に資する授業を実践する。	A 振り返りシートにおいて、「あなたの成績に対する授業の満足度はどうですか。」において「満足している」「ほぼ満足している」と答えた生徒の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満
			授業重視の態度を育て、出席率99%以上、年間皆勤者40名以上を目指す。	A A 出席率99%以上または年間皆勤者40名以上 B 出席率98%以上または年間皆勤者35名以上 C 出席率97%以上または年間皆勤者30名以上 D 出席率97%未満かつ年間皆勤者30名未満
			小テストにより基礎・基本の定着を図る。	B 小テスト合格率が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満
			登校学習会、休日講習会、模擬試験、自習会などを実施し、基礎力・応用力を養成する。	A A 計画どおりに模試を実施したほか、講習会、自習会を積極的に行った。 B ほぼ計画どおりに模試を実施したほか、講習会、自習会を行った。 C ほぼ計画どおりに模試を実施した。 D 計画どおりに模試を実施できなかった。
			大学進学率90%以上を達成する。	A 大学進学率 A 90%以上を達成した。 B 85%以上を達成した。 C 80%以上を達成した。 D 80%未満だった。
	生徒理解を深めるとともに、情報共有をとおして、保護者との連携を図る。	A 個別面談、三者面談を適切なねらいのもとで実施する。	A A 設定したねらいが適切であり、実施時期、回数、内容とも概ね必要を満たしていた。 B 設定したねらいは適切だったが、実施時期、回数、内容に改善すべき点があった。 C 設定したねらいに改善すべき点が多かった。 D ねらいが明確ではなかった。	
	生徒理解を深め、生徒の進路選択の手助けをする。	A 個別面談及び進路に関する検討会を、明確なねらいのもとで実施し、生徒の進路選択の手助けをする。	A A 設定したねらいは明確であり、実施時期、回数、内容とも十分であった。 B 設定したねらいはほぼ明確だったが、実施時期、回数、内容に改善余地があった。 C ねらいが明確とは言えず、実施時期、回数、内容にも改善すべき点があった。 D ねらいが明確でなく、実施時期、回数、内容において改善すべき点が多かった。	



A

A

A

A

